

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.24 比叡山のブナ・クリンソウ観察会 H27年5月3日

新緑の眩しい季節、13名で比叡山のブナとクリンソウを観察してきました。最初に、受付前で準備運動をして、日吉溪谷のルート(⇒通信23奥総社参拝を参照)からスタートして、まずは奥総社を目指します。

日吉溪谷に入ると、水の音と共に花の匂いがどこからかしてきます。見上げると、あちらこちらに、ヤマフジが咲いていました。

(右の写真は西本宮前のフジ)

溪谷を進むと、斜面がえぐれた所に虫の巣がありました。雨がかからない所にすり鉢状の巣を作るといふと分かるでしょうか？下の写真のアリジゴクです。



落ちたアリを捕らえて、栄養にします。成虫はウスバカゲロウで、はかない命の例えに使われることもあります。

溪谷を進み、川を三回渡ると、ミツバウツギが咲いていました。この時期としては水量が多く、靴を脱いで渡る人もいました。

急坂を上がると、奥総社に到着です。休憩を挟み、神宮寺山へと歩を進めます。この場所は前回行けなかった、タムシバの咲いている場所でもあります。残念ながら

枯れた花しか見当たりませんでした。皆さんにはタムシバの匂いを嗅いでもらうことが出来ました。杉林の中に一本だけあった、ウリハダカエデの(落ちた)花を見つけた人もいました。山の中を歩く中で、感覚が研ぎ澄まされていく様です。

神宮寺山を越え、三石岳方面へ向かいます。高度が上がる中で、右側には琵琶湖が望めるようになって来ました。見られる植物も変わっていきます。

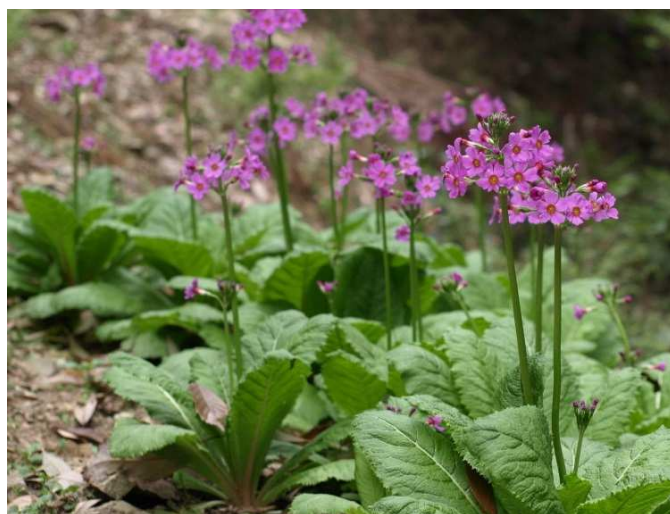
下にはミヤコアオイやチゴユリの花が咲いていて、視線を上げると木の花が目に入りました。ツリガネツツジです(右写真)よく見ると、白色やピンク色の花があります。左斜面を並木道の様に飾っています。名前通り、釣鐘型をした可愛らしい花です。



比叡山には、他にもツツジが咲いていて、コバノミツバツツジやモチツツジも見られましたが、この日とてもきれいに咲いていたのが、ヤマツツジです。(写真右)たくさん咲いているわけではありませんが、林縁にちらほら見かけます。赤い花がとても目立ちます。



三石岳分岐で昼食をとると、通り雨に遭いましたので、先を急ぎました。その途中、今回の目的の一つのクリンソウ(写真左)に出逢いました。花が段になって咲く様子を、五重塔のてっぺんにある九輪(くりん)と見立てたのが名前の由来です。写真右は仁和寺の五重塔の九輪です。



葉っぱを見ると、サクラソウに似ています。華があって、とても癒されます。もともと湿地に生える植物なので、下は湿っているのかもしれませんが。

横川に入る道すがら、イヌブナを説明してもらいました。ブナと似ていますが、葉の裏にまで毛が多いのが特徴です。触って感触を確かめて、

本命のブナを目指します。

そして辿り着いた横川の写真の右側に映っている白い木がブナです。早速葉を触って違いを確かめます。境内は標高が 600m で、冬には雪が積もりませんが、ブナに最適な大雪が降る場所ではありません。温暖化と戦いながら、比叡山にちらほら生き残っています。木の下には枯れたブナの花と殻斗(どんぐりの帽子)が落ちていました。いつまでも、この雄大なブナをたたえる山であってほしいと願います。また、訪れてみたいと思いました。



興味を持たれた方は、是非一緒に登りましょう。お待ちしております。

詳しくは [日吉大社自然観察倶楽部HP](http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com)にて

<http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com>